

去年 今年（ こそことし ）

「主は、ご自分の羽で、あなたを おおわれる。あなたは、その翼の下に 身を避ける。
主の真実は、大盾であり、とりでである。」（ 聖書・「詩篇」91 篇 4 節 ）

これは、私たちの教会・阿武山福音自由教会の、2017 年の【年間聖句】なんですよ。

その後、お変わりございませんか？

- 何人かの方からは、親しい方が亡くなられたとの、お葉書をいただいています。
慎んで、哀悼の意を表したいと思います。
- 多くの方々から、クリスマスカードや 年賀状をいただき、ありがとうございます。
一枚一枚 うれしく拝見させていただきながら、それぞれ ご活躍の様子や 近況を知ることが出来、感謝いたします。
- 今年の 初日の出は、どうだったでしょうか。
私は、毎年、初日の出は、高槻城跡公園にある「高山右近像」の所で迎えています。
最近は、いろいろやることも多くあって、12 時近くまで起きていることが増えていますので、目覚まし時計の助けが必要のようです。
朝の 6 時過ぎに起床。穏やかな天候で、風もなさそうです。雲は多めですが、大丈夫、初日の出が見られそうです。用意をして、6 時 50 分に出かけて行きました。
昨年は、7 時 12 分の 日の出でしたが、東の地平線近くに雲がありますので、どうでしょうか。16 人位の人たちが集まっていました。
「毎年、来られていますネ！」と声をかけてくださる方もいて、感激でした。

7 時 16 分に、初日が姿を見せました。みんなの歓声！

初日と 高山右近像。日の出と共に、皆さんは帰って行かれました。

右近さんも祈られた 当時の言葉で、「パアテル ノステル・主の祈り」を祈りました。

今年・2017 年は、「高山右近・列福」の年でもあり、高山右近関係の、いろいろな催しが予定されています。
すてきな一年と なりますように！

つづいて、近くにある「カトリック高槻教会」へ。元朝の聖堂で、祈りと、リコーダーで

「ユスト高山右近を賛う」「主こそ わが光」― 祈る右近 ―

「いつくしみ深き」の賛美をささげさせていただきました。

誰もいない聖堂で、残響が すばらしく、聖堂が一緒になって賛美しているようで、至福の時でした。 ハレルヤ！

● 家に帰って、おいしく「お雑煮」をいただいて、阿武山福音自由教会での 新年の礼拝に出かけて行きました。

例年ですと、1 月 1 日に「元旦礼拝」、最初の日曜日に「新年礼拝」をささげてきましたが、今年は、1 月 1 日が日曜日だ、ということで、いきなりの「新年礼拝」となりました。

礼拝の司会は、私。

礼拝メッセージは、高橋眞治牧師が、旧約聖書の「詩篇」65 篇から、「御恵みをもって 年の冠とします」と題して、語って下さいました。

「あなた(神)は、その年に、**御恵みの冠**をかぶらせ、
あなたの通られた跡には、あぶらがしたたっています。」(65 篇 11 節)

2017 年の年 そのものに、御恵みの冠をかぶらせる、という約束の言葉。

今年一年を、御恵みの冠をかぶらせ・祝福を与えてくださるという 主なる神を信頼して、神と共に歩んでいきたいと思いました。

きっと、振り返れば、香り油が したたっていますヨ！

● 子ども達・孫たちも、それぞれ 元気に過ごさせていっていて、感謝です。

私たちの家族は、子ども達 7 人(4 人と つれ合い)と 孫たち 4 人。そして、私たち夫婦を入れて 13 人になります。

今年は、うれしい事に、次女が結婚を予定していて、家族が 1 人増えて、14 人になりそうです。

恒例の 3 日の「新年食事会」は、5 時から、その 14 人で、楽しい時を持ちましたよ。

今年も、妻が丹精を込めて、「おせち料理」を いろいろ工夫して、準備してくれました。

4 人の娘たちも、一緒に、よく協力してくれました。

海老の養老煮・海老フライ・チキンカツ・トリの唐揚げ・豚の角煮・その出し汁で、ゆで卵や大根の煮物・各種の煮しめ(小芋・しいたけ・たけのこ・人参・こんにゃく・絹さやエンドウ・ブロッコリー)・紅白なます・酢ごぼう・いか人参・ごまめ・ゴボウのたまり漬・栗きんとん・お漬物(大根・きゅうり・人参・赤玉ねぎ)…… など。

加えて、お寿司の大盛合わせ！

どれも どれも、おいしかった！ みんなに、ありがとう！！

そして これも、恒例のセレモニーを 8 時から。「お年玉手渡し式」

孫たち 4 人に、まず 私たち夫婦から。つづいて、各子ども達夫婦から。

孫たちのうれしそうな 顔顔顔顔、4つ！

この、孫たちが、明るく・希望に満ちた一年、そして未来を歩んでいくためにも、私たち大人が、しっかりと 責任を果たしていかなくてはなりません！

平和で・安全で・希望のある日本、そして 世界でありますように！！

● 昨年・2016 年も、「高山右近研究」を通して、多くの出会いと 恵みをいただきました。

・ 高山右近が マニラで召天されて(1615.2.3)、丁度 400 年の記念の時が終わろうとしていた 1 月 21 日に、“福者の列に加える”(列福)との、正式の認定がなされました。

今年・2017 年 2 月 7 日(火)に、大阪城ホールで「列福式」が持たれようとしており、

私たち夫婦も、ご招待いただいて、列席させていただこうとしています。

・ ホームページ「高山右近研究室・久保田へようこそ」や、「高山右近研究室のブログ」も、よく ご覧いただいているようで、感謝しています。(ブログは、ほぼ毎日、更新しています。)

・ 3/30～4/2、“隠れキリシタンの里「外海」(そとめ)を巡る旅 ”に出かけてきました。

この地域を訪れたのは初めてのことで、長崎・外海・平戸などの 各地の教会や遺跡・中浦ジュリアン出生の地。平戸の「松浦史料博物館」では、[伴天連追放令] の実物と 初対面してきました。

・ 6/21 に、敬愛する 神田宏大(ひろお)牧師が召されました。神田師は“河内キリシタン”、私は“高山右近”を中心にした研究でしたが、よく ご一緒させていただきました。

神田師の遺志を継いで、予定・準備されていた「全国かくれキリシタン研究会・大阪 河内大会」を、是非とも実施したいと思い、準備させていただいています。

(11/16～18、会場:四條畷市・「アイアイランド」)

その準備もあって、昨年 9/8～11 に持たれました「東北大会」に参加させていただきました。

私には、初めての体験でしたが、支倉常長や 大籠のキリシタン達など、東北のキリシタン達との出会いは、感動的でした。

・ 毎週木曜日(10～12 時)、カトリック高槻教会で続けています「高山右近研究会」では、

キリシタン関係書を、毎週 少しずつ、じっくりと 輪読・研究してきましたが、昨年は、

「日本巡察記」(ヴァリニャーノ・著)を読み終え、今は、「高山右近の生涯」(ラウレス・著、新版)を読み進めています。

一人で読んでいだけでは得られない、多くのことを学ばせていただいています。

※ 今年・2017 年は、高山右近さんが 注目される年になりそうですよ！

・ 1 月 7 日(土) OSK 日本歌劇団「高山右近伝」(高槻現代劇場)

・ 2 月 7 日(火) 「列福式」(大阪城ホール)

・ 3 月 1～6 日 【高山右近フェスタ】(高槻城跡周辺)

3/4「高山右近劇場」 3/1～6「高山右近美術展」

ぜひ、参加・協力 してくださいネ！

- ・ 4 月には、千玄室(裏千家)による 献茶(ミサ)・講演会

…… ワクワクしてきませんか？

列福の 春や いつもの 右近像

- 私たち夫婦の結婚記念日は、1966 年 5 月 1 日(日)。
「金婚式」の お祝いということで、子ども達・孫たちが 費用を出し合って、
“お祝いの席” を設けてくれました。
旅行にも送り出してくれましたので、有馬温泉で、ゴージャスな時を持たせていただきました。感謝！
- 7/8 には、再び “ ギックリ腰 ” になったり、聞き取りにくくなってきたり ……
加齢と共に、少しずつ 体に変化が起こってきていますが、今年 は 76 歳！
ムリ・無茶なことは しないで、がんばらないで、
究めていくことは、広げすぎず・深く 高く —— ゆっくり 歩いていきたいと思います。

本年も、よろしく願います。 神の祝福が 豊かにありますように。

主の年(A.D.) 2017 年 1 月

久保田 Ukon 典彦

忠子